

# 経済・金融 フラッシュ

## 雇用関連統計 10年5月 ～失業率が3ヵ月連続で上昇

経済調査部門 主任研究員 齋藤 太郎

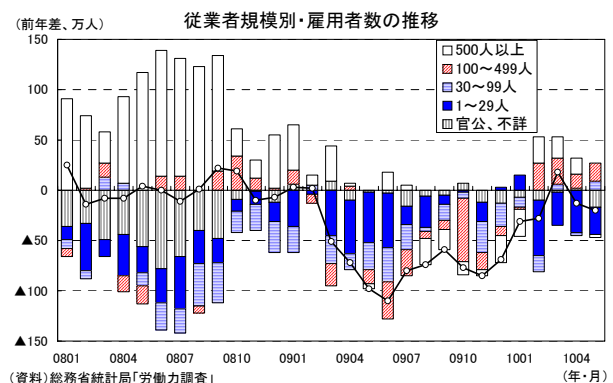
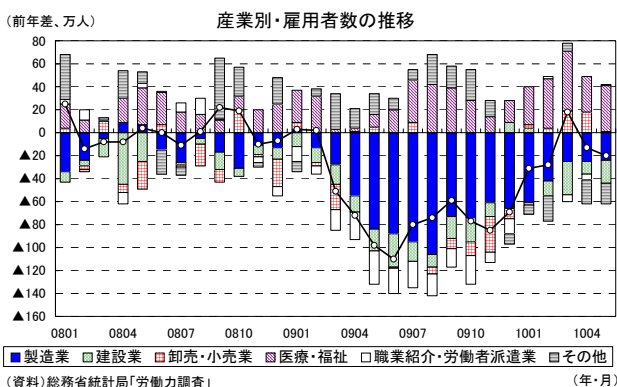
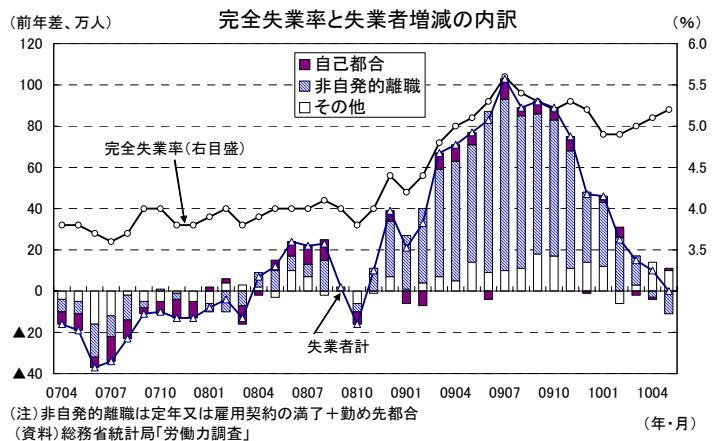
TEL:03-3512-1836 E-mail: tsaito@nli-research.co.jp

### 1. 失業率が3ヵ月連続で上昇

総務省が6月29日に公表した労働力調査によると、5月の完全失業率は前月から0.1ポイント上昇し5.2%となった（ロイター集計事前予想：5.0%、当社予想は5.1%）。失業率は09年7月に過去最悪の5.6%を記録した後、10年1月、2月には4.9%まで低下したが、3月以降3ヵ月連続で上昇した。

雇用者数は前年比▲0.4%（4月：同▲0.2%）と2ヵ月連続で減少した。季節調整済の雇用者数は5417万人（前月比▲25万人）となり、直近のボトムであった09年6月の5425万人を下回った。失業者数は347万人と前年と同水準となった。

失業者の内訳を求職理由別に見ると、非自発的な離職による者が前年に比べ11万人の減少（うち勤め先都合が7万人減）、自己都合による者が1万人の増加となった。



雇用者数の内訳を産業別に見ると、製造業の雇用者数は前年に比べ▲24万人減と16ヵ月連続で減少した。減少幅はピーク時（09年8月の▲106万人減）に比べると大きく縮小しているが、鋳工業生産の水準が依然としてピーク時の8割強にとどまっているため、製造業の雇用が増加に転じる

までにはまだ時間がかかるだろう。また、公共工事削減の影響などから建設業が前年に比べ▲20万人減と4ヵ月連続で減少した。一方、医療・福祉は前年に比べ40万人増と引き続き雇用を下支えしている。

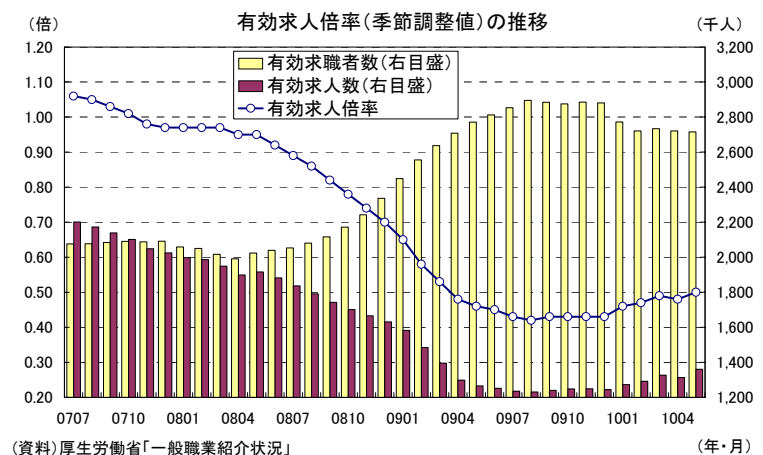
従業員規模別には、500人以上の大企業は4ヵ月連続で増加したが、1~29人の中小企業の雇用者数は前年に比べ▲27万人の減少となり、4ヵ月連続で減少した。

## 2. 有効求人倍率は1年2ヵ月ぶりの0.5倍台

厚生労働省が6月29日に公表した一般職業紹介状況によると、5月の有効求人倍率は前月から0.02ポイント上昇し0.50倍となった(ロイター集計事前予想:0.49倍、当社予想も0.49倍)。有効求職者数が前月比▲0.2%と2ヵ月連続で減少する一方、有効求人数が前月比3.5%と2ヵ月ぶりに増加した。

一方、有効求人倍率の先行指標である新規求人倍率は、新規求人数が前月比▲1.3%と3ヵ月ぶりに減少したことなどから、0.83倍(4月:0.88倍)と前月よりも0.05ポイント低下した。

労働需給は緩やかな改善が続いているが、企業の採用意欲は引き続き弱い。先行きの有効求人倍率の改善ペースは非常に緩やかなものにとどまり、失業率は当面5%程度での推移が続く可能性が高いだろう。



(お願い) 本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保證するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。